

新潟動物ネットワーク(NDN)は、放置したままだと保健所で死を迎えることになる動物を救助し、里親に引き渡す活動を熱心に進めるボランティア・グループです。現在は、「養子縁組を待つ」動物を里親希望の家庭に引き合わせています。

2002年9月1日、エリザベス・オリバーは、NDNが主催する(参加者200名の)集会に出席するため、新潟まで出向きました。新潟県の管理センター5個所で2000年に収容された犬の総数は2061頭(内訳は、飼い主に捨てられたもの790、野良犬1221、傷を負った犬50。)その中1042頭が殺処分されました。同じ年に処分された猫の数はその5倍に上り、これは全国的に同様の傾向が見られます。

動物福祉活動に意欲的な若者グループが日本中に増えているのは頼もしいかぎりです。新潟のように因習が根強く残る地方共同社会にあって、犬は未だに外で鎖につないで飼い、避妊手術は不自然だと考えるような所は、変化に対する抵抗が大きいはず。NDNは困難に対処しペットの扱いを改善するために、並々ならぬ覚悟をもって取り組む必要があるでしょう。



Niigata Doobutsu Network (NDN) is an enthusiastic group of volunteers who are trying to rescue and rehome animals that would otherwise be killed by the hokensho. At present they use foster homes for animals awaiting adoption. On September 1st 2002, Elizabeth Oliver travelled to Niigata (on the Japan Sea coast of northern Honshu) to take part in a meeting organized by NDN, attended by 200 people.

At the five Kanri Centres in Niigata prefecture in 2000, the number of dogs for the year totalled 2061 (given up by their owners 790, homeless dogs 1221 and injured 50). Out of these 1042 were killed. The number of cats killed in the same year was five times that of dogs which follows the general trend throughout Japan.

It is encouraging that young groups are becoming active in animal welfare around Japan. Places like Niigata with a deep-rooted rural community who still chain dogs outside and who regard neutering as unnatural are resistant to change. The NDN will need a lot of determination to meet the challenge and raise the level of pet care.

Wan's Tail 第1回公開セミナー開催のお知らせ

【アメリカの獣医師と考えるペットとの絆】

——幸福に共存するために——

日 時：12月23日(月・祭日)

セミナー／13:00～16:00 質問／16:15～17:00

場 所：大日本製薬(株)大会議室
東京都台東区谷中3-25-6

交 通：山手線西日暮里駅下車徒歩15分

参加費：3,000円

テーマ：アメリカの獣医師と考えるペットとの絆

～幸福に共存するために～

(不妊去勢手術、野良猫問題、動物虐待問題など)

講 師：西山ゆうこ米国獣医師

お問い合わせ：申込方法：参加者の住所・氏名・職業・電話
& FAX番号& メールアドレスを明記の上、
下記のいずれかの方法でお願い致します。

1) 電子メール：wantail@mpd.biglobe.ne.jp

2) 往復はがき：〒285-0858 佐倉市ユーカリが丘3-1-7
ポケットパーク1号 デイジーフィールド内
Wan's Tail窓口 宛

(返信部分にご自身の宛先を記載してください)

申込締切：12月5日(木)

締め切り前においても、先着順にて
人数になり次第締切りと致します。

西山ゆう子米国獣医師 プロフィール

1961 北海道札幌市生まれ

1984 北海道大学獣医学部獣医学科卒業。

86年同大学獣医学部修士号取得。

東京、北海道の動物病院勤務の後、90年アメリカ、
ロサンゼルスに移住。

1991 動物の会「アルファ」設立。

ペットの人口過剰問題、動物虐待、ノラ猫問題などを中心に、
アメリカから専門的な情報を日本へ提供している。

また将来獣医師を目指す若者、及びアメリカで動物の勉強を
したいと希望している人に対してもコンサルティングサービス
を行っている。不定期に資料集を発行。

1995 アメリカ合衆国獣医師国家試験合格。

アイオワ州立大学の獣医ティーチングホスピタルで

客員獣医師として勤務を経て、

ウィルシャー・アニマルホスピタル(サンタモニカ市)に勤務の後、
現在、ウエストロサンゼルスにある

「ペットビルアニマルホスピタル」に勤務。

著作：翻訳本

「小さな命を救いたい」エフエー出版

「Drトーマスの家庭獣医療相談室」訳者：西山ゆう子ペットライフ社
他多数